

■進捗状況

中項目 4 - 12

公開日：2025年 6月

分野	項目名
ダイバーシティ	グローバル化の推進
内容	
<p>世界60カ国以上の220を超える大学との交流ネットワークを生かし、大陸別・言語圏別にネットワークを形成するとともに、グローバル化への取り組みを推進し、高等教育機関における国際的認知度および世界ランキングの向上に努める。一方、国内では海外からの労働者・生活者が急増しており、海外でも日本語修得を目指す学生が増加していることを背景に、日本語教師のニーズが高まっている。日本語教育の拠点として「国際日本語教育センター」（仮称）を設置し、日本語教師の育成に取り組む。</p>	
取組状況	
2021年度	<p>各大陸別・言語別に戦略的グローバルネットワークを形成する拠点の一つとして、アフリカのケニア・ナイロビ大学に本年3月に創価大学ナイロビ事務所を開設した。アジア（中国・韓国・タイ・フィリピン）に続き5か所目となった。</p> <p>海外諸大学との交流については、近年その内容が多様化しており、各学部等においても様々な交流を実施してきた。創立50周年記念事業を機会に、本年度は交流の歴史を振り返るとともに今後の交流を展望しつつ、交流校の拡大や交流協定の延長等について検討した。</p>
2022年度	<p>本年度は国内外諸機関と連携して、「価値創造×SDGs」Week（6月）、在京南部アフリカ開発共同体（SADC）による連続講座（春学期・共通科目「地域研究B」）、「世界市民教育シンポジウム」（10月）等を実施した。オンラインによる日本語教育については、海外在住の学生への授業等のほか、海外交流校からのニーズにも応えられるよう検討した。</p>
2023年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学そして日本で2回目の開催となる東南アジア高等教育協会（ASAIHL）を2023年6月に開催し、国際熱帯木材機関（ITTO）事務局長による基調講演を実施するとともに、参加した国内外約120名の研究者との連携を強化した。</li> <li>・南部在京アフリカ外交団（SADC）による連続講座が共通科目「地域研究B」で実施し、12カ国の大使館代表が講義を行った。</li> <li>・中央アジアのカザフスタン共和国のスレイマン・デミレル大学、及びトルクメニスタンのトルクメニスタン外務省付属国際関係大学と交流を開始した</li> </ul>
2024年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「周恩来・池田大作会見50周年記念シンポジウム」、「中国文化大学・慶南大学・創価大学3大学によるピースフォーラム」等を開催した。</li> <li>・国内外の有識者を招聘し、連続セミナー「Soka Global Perspectives」を継続して開講した。また、創価教育に関するオンラインによる授業をインドの創価池田女子大学を対象に実施した。</li> <li>・地球憲章インタナショナル事務局とのMOUを締結した。</li> </ul>
2025年度	

2026年度	
2027年度	
2028年度	
2029年度	
2030年度	

## 事業計画4-12-33

達成度 A・・・達成 B・・・一部達成 C・・・未達成

計画名	戦略的グローバルネットワークの形成					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	B	2025年度		2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度	A	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		B	

## 事業計画4-12-34

計画名	日本語教師養成課程の充実					
実行開始年度	検討中					
年度達成度	2021年度	-	2025年度		2028年度	
	2022年度	-	2026年度		2029年度	
	2023年度	-	2027年度		2030年度	
	2024年度	-	最終目標からの達成度			